

事業の基礎情報

実施主体	せとうち周桑バス株式会社
事業実施地域	愛媛県西条市
共創の種類	他分野共創・交通事業者間共創
他分野共創の種類	商業・観光まちづくり
共創パートナー	一般社団法人西条市SDGs推進協議会、西条市地域公共交通活性化協議会
運行形態	路線バス
運行主体	せとうち周桑バス株式会社

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

地域公共交通の利用者は長期的に減少しており、利用されない公共交通機関から、利用される公共交通機関への再編が必要である。また、地域商業圏は住民の生活に直結しており、地域経済の活性化も課題である。そのため、利用しやすい公共交通機関への再編と合わせて、バスの利用促進施策を展開することにより公共交通機関の持続化と地域経済の循環による活性化を図る。

(事業の概要)

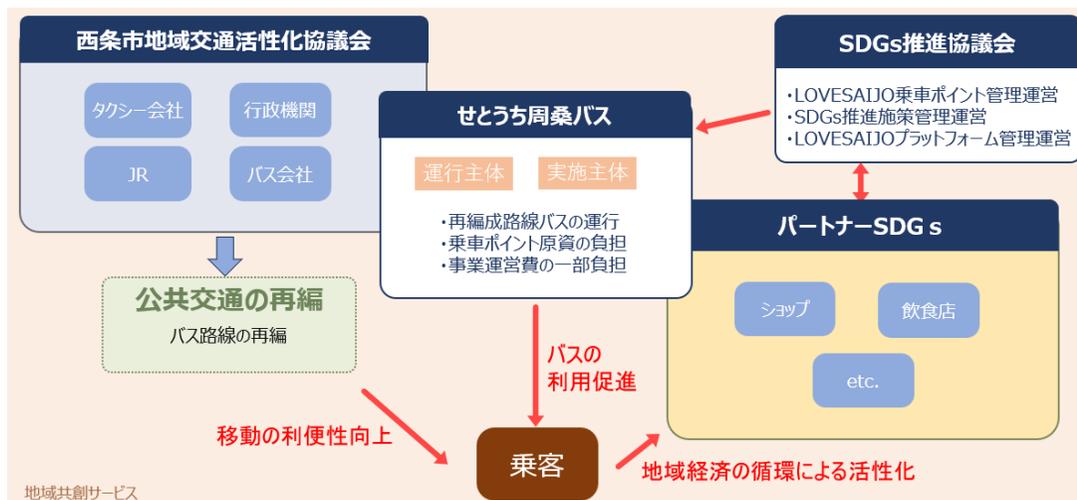
現在、バス路線である三芳線の経路を見直し、買い物、通院需要が見込まれる路線に再編して利用者の増加を目指す。合わせて、地域の事業者と連携し、バス利用者に対する地域ポイントを付与することにより利用促進を図る。西条市には（一社）西条市SDGs推進協議会が管理運営を行っている地域ポイントサービスがある。これは、買い物やサービスの利用時に、スマートフォンアプリを用いてポイントが付与されるものであり、買い物等の支払いで利用できる店舗等が約300か所存在する。この地域ポイントサービスを活用し、バスの利用促進と地域経済の循環による活性化につなげる。

また、地域ポイントの活用による相乗効果を図るため、新三芳線を運行予定のバスに地域ポイントに関するラッピングを行う。

地域公共交通の再編と地域ポイントによるバス利用促進モデル

せとうち周桑バスLOVESAIJOポイントプラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

西条市地域公共交通活性化協議会にて、地域公共交通の再編を行い、市民の移動の利便性の向上を図っている。また、(一社)西条市SDGs推進協議会は地域経済の循環による活性化を目的として、市内約300のポイント取扱い事業者をSDGsパートナーとし、市内で貯めて使える地域ポイントサービスであるLOVESAIJOポイントの管理運営をしている。このポイントをバス乗車に伴って付与することで、バスの利用促進を図るとともに、バス利用者によるポイント利用を通じて、地域の事業者と連携した地域経済の循環による活性化を図る。

(実証事業により見込まれる効果)

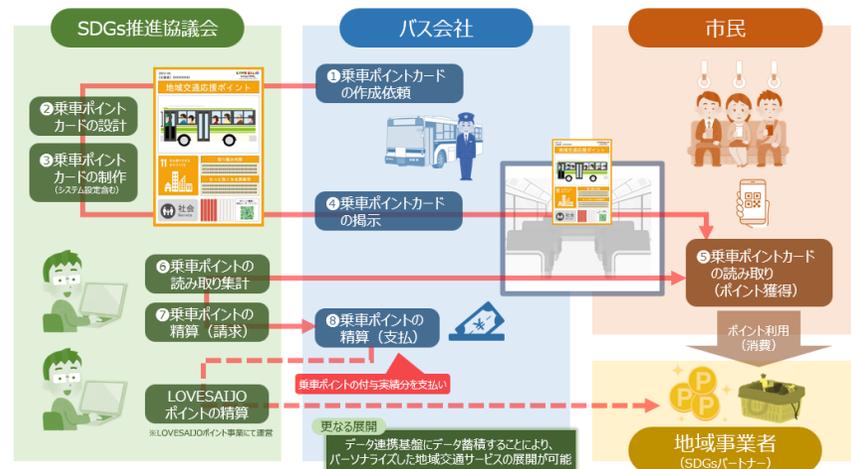
地域公共交通の維持のためには移動需要の増加が必要である。LOVESAIJOポイントアプリの利用者は、現在約4万人(人口の約4割)であり、このアプリを活用し、バス路線の認知度向上や乗車する動機付けにつなぐことで、バス利用者の増加が見込まれる。また、バス利用者は付与されたポイントを利用するため、ポイント取扱い事業者の店舗で買い物等を行うという人の流れが創出されることから、移動需要の増加及び地域経済の循環による活性化が見込まれる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

乗車ポイントはバス車内に掲示する乗車ポイントカードに掲載されている二次元コードを利用者がアプリで読み取ることでLOVESAIJOポイントが付与される仕組みとし、せとうち周桑バス（株）が（一社）西条市SDGs推進協議会へ委託及びポイント原資を支払う。なお、新三芳線（仮）が運行開始される10月を実証運用を開始（予定）とし、より多くの乗車とポイントの活用を目指す。

また、バスの外装にLOVESAIJOポイントについてのラッピングを行い、周知を行うことにより、相乗効果を図る。



せとうち周桑バス（株）	交付決定後
（一社）西条市SDGs推進協議会	10月までに
せとうち周桑バス（株）	10月
（一社）西条市SDGs推進協議会	10月
せとうち周桑バス（株）	10月以降毎月
（一社）西条市SDGs推進協議会	10月以降毎月

LOVESAIJOラッピングバスの購入（予算等に鑑み中古車両を検討）
 乗車ポイント運用のための準備
 新三芳線（仮）運行開始
 乗車ポイントの運用・管理開始
 ポイントカード及びポイント原資の支払い
 乗車ポイントの運用・管理

(補助事業実施後の予定)

新三芳線（仮）の利用促進を継続的に行う。地域ポイントサービスについては実証運用の検証を行うとともに、成果を西条市地域公共交通活性化協議会に共有し、横展開を検討していく。令和7年度以降は西条市内西部地域のさらなる再編を予定しており、地域との連携を深めることが必要である。そのため、バス車内にポイント取扱い事業者の広告として、ポイント付与する二次元コードを掲載したチラシを掲示し、バス利用者が読み取ったポイントの原資等を広告掲載事業者に負担してもらう広告ポイント（仮）も検討し、バス利用者の増加による公共交通機関の持続化と地域経済の循環による活性化を図る。